



OKEGAWA

No. 29

不定期発行

オケガワホンプラス

hon プラス+ 通信



テーマは 谷川 俊太郎 特集

2024年に亡くなるまでに 2000作以上もの数を残したと言われる谷川俊太郎さんの詩

は、多くの言語に翻訳され、その「ことばの力」は今なお世界中に響き渡っています。

詩のテーマは、生や死、愛、自然など、年齢や時代や国にとらわれないものです。それらに対するイメージを用いて、深い感情や思想を、誰もがわかるシンプルなことばで表現しつづけました。また、海外の素晴らしい文学や絵本を、日本語の読者に伝える翻訳家の一面もありました。

この特集では、数多くの著作のなかから、詩集をはじめとした数冊を厳選してご紹介します。芽吹きの子供、ことばの美しさやしなやかさに触れる機会をもってみませんか。谷川俊太郎さんが伝えようとしている感情や問いを共に感じていくことで、隣人を愛し、今日を生きる力が湧いてくることを願っています。



詩集をもつということ

『すてきなひとりぼっち』 谷川 俊太郎・詩

出版社：童話屋
ISBN：978-4-88747-084-2

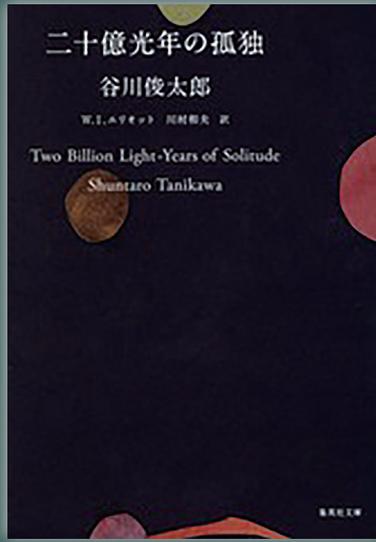
中に収められている1つの詩のタイトルでもある、詩集『すてきなひとりぼっち』には、かけがえのない「自分」という存在と、それと全く同じように、かけがえのない「自分以外」の存在が、対等に共に在るというテーマの詩が多く集められています。

もしもあなたが詩集を1冊、鞆に入れて出かけたのなら、この詩集をおすすめします。文庫本の大きさとハードカバーの装丁は、持ち運ぶのに最適だからです。この出版社からは3種類の谷川俊太郎の詩集が出ていて、それぞれ表紙の色がグレー、ブルー、ピンクの3色、絵柄は同じアンドロメダ宇宙が描かれています。ぜひお気に入りを見つけてみてください。

詩集の楽しみは、それを開けばいつでも言葉が待っていてくれることではないでしょうか。詩集をもつということは、読んだことのある詩にこれから先、何度でも新しく出会いなおすことができるということです。言葉は変わらずそこにあるのに、なぜだか開いたその時の気持ちが、心に深く染み込む新たな一編と引き合わせ、そのときを生きるためのメッセージを受けとらせてくれるはずですよ。

すてきなひとりぼっち
谷川俊太郎

すべてはここから始まった



『二十億光年の孤独』 谷川俊太郎・著

出版社：集英社（集英社文庫・刊）
ISBN：978-4-08-746268-5

高校をやっと卒業し、大学にも行かず実家で悶々としていた谷川さんが、ある日業を煮やした父親（哲学者・谷川徹三）から、これからどうするつもりなのか問い詰められて、やむを得ず出したノートに書かれていたのが、この本に収められた詩なのだそうです。父親は読んで驚き、知人の詩人・三好達治を介して出版となりました。

まずタイトルが素晴らしい。この詩が象徴しているように、谷川少年の感じる孤独感と、そしてどんどん宇宙規模に広がっていく思考と言葉たち。そのスケール感は宮沢賢治をも思わせます（実際好きだったようです）。日本的な湿度感がなく、さわやかなのも良いです。多分当時の大人たちは、驚いたんじゃないかな。

・中央図書館、川田谷図書館に蔵書があります

生きる知恵を教えてもらう（どちらも付箋が増えます）

『星空の 谷川俊太郎 質問箱』

谷川 俊太郎・著 出版社：ほぼ日
ISBN：978-4-86501-311-5

『幸せについて』

谷川 俊太郎・著 出版社：ナナロク社
ISBN：978-4-904292-84-6



・中央図書館に蔵書があります

WEBサイト「ほぼ日刊イトイ新聞」で谷川さんが、大人から子どもまでの様々な年齢からの質問に答えた内容を中心とした本です。

時には言葉を大切に扱う谷川さんらしく分析的

に、時にはその豊富な人生経験からの滋味あふれる言葉で、時にはユーモアも交えて・・・。

自分が一番印象に残った答えは、十歳の「人は何をするために生まれてくるのか」という難しい質問に答えた谷川さんの言葉でした。

（内容は読んでからの楽しみ！）

「質問箱」でもうかがえましたが、もっとストレートに谷川さんの「幸せ」についての考え方を教えてもらえるのがこの本です。谷川さんらしい、とても分かりやすい言葉で語られています。力こぶ

が入っておらず、気楽に話せるおじさんが飲み屋のカウンターで甥っ子に語っている感じで読みやすい。辛くなったら、この本を開くか青い空を見上げましょう。

この世界は素晴らしい。



幸せについて

ニセの幸せと				
ホントの幸せ				
両方とも美しい				
見分けるのは				
難しい				

谷川俊太郎

となりに詩人がすわっていたら

『となりの谷川俊太郎』

谷川 俊太郎・著

出版社：ポエムピース

ISBN：978-4-908827-75-4

こちら、『すてきなひとりぼっち』『二十億光年の孤独』に続いてご紹介する、詩集です。短い詩が中心に集まり、すべて見開き2ページに1つの詩というレイアウトで収められており、どのページを開いてもひとつの詩が読めるように工夫されています。歌人の枅野浩一さんが、巻末のエッセイと、気まぐれに詩に対する“つぶやき”

のコメントを残しており、そのどちらもがこの詩集のみどころです。

谷川俊太郎さんの詩には、むずかしい言葉が使われていませんし、決まった状況が詳しく記されているわけでもありません。ですから、その詩に書かれる意味やメッセージは、読み手の状況に置き換えて感じてほしい、それが読む度に変わっていてもかまわない、という余白を用意してくれているのだと思えてなりません。

となりに詩人がすわっていて、自分のために詩を読んでもらっていると想像しながら、まるで会話をするように、自分が感じ考えたことを“つぶやき”ながら読んでみるのも、楽しそうですね。

愛情というものを考えると、いつもわからなくなる

『魂にメスはいらぬ』

河合 隼雄、
谷川 俊太郎・著

ユング心理学講義

出版社：講談社（講談社＋α文庫・刊）
ISBN：978-4-06-256007-8

臨床心理学の分野で知られる河合隼雄さんが、谷川俊太郎さんに講義を行うという対話型の体裁でまとめられた、心理学に関する読み物です。心理学のなかでも複雑・難解と評されることもあるユング心理学ですが、夢分析や箱庭療法など、カウンセリングの分野でも用いられており、その名を聞いたこともある方も多いのではないのでしょうか。

詩集に比べると少し難解な内容の読み物ではありますが、講義の聞き役である谷川俊太郎さんの言葉には、詩をつくることへの逡巡^{しゆんじゆん}や、人の感情や無意識 / 意識についての深い思索と探求がみとれます。詩という作品の裏側にある谷川さんの考え方や人柄、人生そのものに迫ることができるのは、話し言葉が読めることならではの効能です。

そして、この本の巻末には、心理学の河合隼雄さんによる谷川俊太郎さんの詩の紹介とその解釈が付け加えられているのも必見です。心理分析の専門家がどう読んでいるか、という点でとても興味深いものがあり、この対話でしか実現しなかった詩の批評になっています。これまでより一歩深く、谷川俊太郎さんの詩を味わってみたい方におすすめです。

魂にメスはいらぬ

ユング心理学講義

Kawai Hayao Tanikawa Shuntaro
河合隼雄＋谷川俊太郎

心はなぜ
病むのか。

「庄の根源を考ふる
河合隼雄の名講義！」

講談社＋α文庫

シリーズ累計
115万部
突破!!

詩と短歌のコラボレーション

『今日は誰にも愛されなかった』

谷川俊太郎・著

出版社：ナナロク社

ISBN：978-4-904292-91-4



国民的詩人で大御所の谷川さんと、新鋭歌人二名が、詩と短歌を交互に詠みあう「連詩」の本です。「五七五七七」の字数制限がある短歌と、まったく自由な詩。そのやり取りが、不思議なリズム、メロディを奏でています。

そして、なんとこの本には「感想戦」の章があって、三人がなぜそのようなやり取りをしたのかという創作の秘密が明かされていて、それがとても面白いのです！

谷川さんは晩年まで、若い世代と気軽に接し、交流しているんですよ。

・中央図書館に蔵書があります



桶川市立中央図書館スタッフが選んだオススメ本

「谷川俊太郎特集」

『ベージュ』 谷川俊太郎・著

出版社：新潮社 ISBN：978-4-10-401807-9

70年に及ぶ詩作から自選と書き下ろしを収めた31篇！

『かないくん』 谷川俊太郎・作 松本大洋・絵

出版社：ほぼ日 ISBN：978-4-86501-107-4

死ぬとどうなるの。大人にも読んでもらいたい絵本です。

『星空の谷川俊太郎 質問箱』 谷川俊太郎・作 祖敷大輔・絵

出版社：ほぼ日 ISBN：978-4-86501-311-5

- ・一般の方の日々の疑問に谷川俊太郎がわかりやすく丁寧に解答する、気軽に手に取れる本です。
- ・64の質問、お悩みに谷川さんが答える本です。イラストもかわいいです。

『二十億光年の孤独』 谷川俊太郎・著

出版社：日本図書センター ISBN：978-4-8205-4076-2

詩の中に、思いがけない光景が散りばめられていて、時に、はっとさせられる作品集です。

『バウムクーヘン』 谷川俊太郎・著

出版社：ナナロク社 ISBN：978-4-904292-82-2

心の中にひそんでいる子どものことばでつづられた詩は、やさしいのに、ちょっぴりものがなくて、くせになります。

テーマに沿った本を図書館に蔵書があるものから選んでみました。図書館を是非ご利用ください。



OKEGAWA hon プラス+とは

OKEGAWA hon プラス+イベントスペースでは、OKEGAWA hon プラス+運営協議会（桶川市・株式会社新都市ライフホールディングス・丸善雄松堂株式会社）が主催して博物館、大学、出版社等と連携し、桶川の市民サービス向上のため、子ども向けから大人向けまで幅広い世代を対象とした学びのサポートをしています。

OKEGAWA hon プラス+でのイベントの予定についてはこちらをご覧ください▶



おけがわマイン 3F

〒363-0022 埼玉県桶川市若宮1-5-2

OKEGAWA hon プラス+

☎ 048-786-6353 桶川市立中央図書館

発行者：OKEGAWA hon プラス+運営協議会（桶川市・株式会社新都市ライフホールディングス・丸善雄松堂株式会社）

「202503」

